

2020年度 事業報告

<総務本部>

【総務委員会】

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
2. 正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
3. 正会員及びオープン会員の会員証を個人へ発送しました。
4. 2020年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
5. 10月に次年度正会員用登録用紙を各チーム代表者に発送しました。
6. 総会、理事会及び定例会議等の会議を開催し、報告書を作成しました。
7. 会員に対する保険等の対応を行いました。
8. 議案等を作成し、各会議へ提案しました。
9. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化及び効率化を図りました。
10. 個人情報の適正な管理を行いました。
11. 独立行政法人日本スポーツ振興助成センターにスポーツ振興くじ、スポーツ振興基金、開催地の関係機関等に助成申請を行いました。
12. 大会の開催に関し、スポーツ庁及び海上保安庁等に後援申請を行いました。
13. 他業種との連携を図り、連盟の活性化を検討しました。
14. 社会貢献活動として、NSA サーファーズビーチクリーン ACT 2020（全国一斉ビーチクリーン）を実施し、フラッグポール及びフラッグに代わり消毒液を配布しました。
日時 2020年9月6日（日）または13日（日）
場所 全国の海岸 45ヶ所、2,200名参加しました。
15. UMI 協議会のボートショー(2020)に参加し、サーフィンの楽しさを一般の方々に情報発信する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に中止になりました。
16. 各種助成団体の調査及び加盟を図りました。
17. 公益財団法人日本スポーツ協会への加盟を目指しました。
18. 会員データシステムの改修を検討しました。
19. 公認会計士による監査の強化を実施しました。
20. スポーツ団体ガバナンスコード規定に準じた組織運営作りを目指しました。

【コンプライアンス委員会】

1. コンプライアンスの作成見直しを実施しました。
2. 会員及び役員へコンプライアンスの徹底推進を実施しました。
3. サーフィン界のコンプライアンスの啓発活動を実施しました。
4. YearBook にコンプライアンスについて掲載し、周知を図りました。

【普及開発委員会】

1. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、支部長意見交換会等を実施予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の為に中止にしました。

2. 全日本サーフィン選手権大会の開催時に全国支部長会議を開催予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の為に、全日本サーフィン選手権大会が中止になり開催できませんでした。
3. 各地域主催の公認サーフィンスクールの助成を受け付けました。(年間3ヶ所)
4. 公的サーフィンスクール(市、教育委員会など)にテキスト、保険提供などを支援しました。
5. サーフィン専門誌及びNSA オフィシャルサイトなどを活用し、公認指導員の公認スクール開催の支援及びスクールの拡充を図りました。
6. 都道府県体育協会への加盟にあたっての助言、指導、助成を行いました。
7. 職業別サーフィン大会への助成を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の為に大会が中止になりました。

【安全対策委員会】(公認指導委員、海洋レジャー安全指導員講習会開催管理)

1. サーフィンに関する安全普及活動を実施しました。
2. 主催大会、公認大会等の安全管理を徹底しました。
3. サーフィン環境の保全、改善による安全対策を計画し実施しました。
4. 公認指導員制度の普及・促進を図る為に、海上保安庁、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会・(一社)ウォータースクママネジメント協会の事業と連携して、以下の日程で講習会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に開催を中止しました。
日程 : 2020年3月8日(日)
会場 : 横浜(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会大会議室 受験者数31名
5. 主催大会会場に於いて救急救命訓練・講習会の実施を検討していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、未開催となりました。
6. 主催4大会に於いて、主催支部もしくは主催地域より要請があった際に、津波防災対策訓練の実施を検討していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に未開催となりました。
7. 公認指導員講習会について、支部または地域からの開催要請を受けた場合に、派遣を行う検討をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に未開催となりました。

<強化本部>

【国際委員会】(ISA コーチング、ジャッジ資格管理)

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握し、告知しました。
2. 本連盟が関連する国際大会・事業等の企画運営を検討していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、実施できませんでした。
3. 世界レベルのジャッジ・コーチ・選手の育成をしました。
4. ISA との連携を深め、情報交換を実施しました。
5. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図りました。
6. ジャッジシステムの管理をしました。
7. ISA コーチング講習会の実施を検討していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、実施できませんでした。

【強化委員会】(波乗りジャパン)

1. 強化合宿を行い世界レベルの選手の育成・強化を進めました。

2. 世界レベルのコーチの育成を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、実施できませんでした。
3. 強化指定選手制度を設け、管理しました。
4. 強化指定選手を対象に強化合宿を行いました。
5. 強化指定選手には、国際大会の選手参加費のサポート、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施しました。
6. 国際大会への派遣選手の選考及び派遣役員を選出しましたが、大会が延期となりました。
7. 公益財団法人日本オリンピック委員会との連携により、国際大会で勝利できる選手育成を実施しました。
8. 将来計画に基づきジュニア選手の育成を実施しました。
9. 強化指定選手を対象とした強化合宿を実施するとともに、管理をしました。
10. 世界選手権大会の選考試合（ジャパンオープンオブサーフィン）を開催しました。
11. 以下の国際大会等へ選手派遣を検討しました。
 - ・2020 ISA WORLD SURFING GAMES 5月7日～17日 エルサルバドル（延期）
 - ・2020 ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP 中止
 - ・2020 ISA WORLD ADAPTIVE SURFING CHAMPIONSHIP 延期

【アンチドーピング医科学委員会】

1. アンチドーピング活動を徹底するとともに周知活動を実施しました。
2. ドーピング検査を導入しました。
3. サーフィンに関する医学的な調査研究を実施しました。
4. 強化選手等を対象に専門的な知識の理解を深める活動を実施しました。

【オリンピック国際推進委員会】（ISA 世界大会、強化合宿、強化指定選手等）

1. オリンピックに関する大会でのサーフィン競技の継続的な実施へ向けて働きかけをしていきました。
2. 国際機関と連携しサーフィンの普及発展に努めていきました。
3. アジア地域のリーダー国としてサーフィンの地域発展を進めました。
4. 公益財団法人日本オリンピック委員会等の事業連携や会議へ出席しました。
5. アンチドーピング医科学委員会と連携し、WADA 及び JADA の定めるアンチドーピングを進めました。
6. 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構の仲裁制度を活用可能としました。
7. スポーツ関係機関との連携を図りました。

【アスリート委員会】

1. アスリートからの意見を集約し、事業や強化活動へ提案しました。
2. アスリートの環境整備を提案しました。
3. アスリートの課題を集約し、解決に向けた提案をしました。

<事業本部>

【事業委員会】

1. オフィシャルパートナー・各主催大会・プールスクール事業の協賛募集活動を行いました。
2. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルパートナーに報告しました。
3. 派遣大会ではナショナルチームにユニフォーム、Tシャツ、ポロシャツ、帽子等を支給予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の為に、派遣大会が中止になり支給しませんでした。
4. 大会役員、関係者、公認ジャッジにスタッフアウターを販売しました。
5. 第 55 回全日本サーフィン選手権大会にて、ライブ中継を広報委員会と合同で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、大会が中止になりライブ中継も中止になりました。
6. NSA ネットショップ(ALOHA STORE)にて、NSA 関連商品を販売しました。

【広報委員会】

1. 2021 年度会員募集と主催大会スケジュールの発表を「サーフィンレビュー」から「安全なサーフィン」という名に変更して圧着形式で、2020 年 10 月に全会員へ郵送しました。
2. 「YEARBOOK」を 2020 年 4 月上旬に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、支部長へ郵送しました。
3. サーフィン専門誌の「NSA ニュース」欄等を利用し、NSA の活動を一般に広く知らせる記事を掲載予定でしたがサーフィン専門誌廃刊の為に掲載できませんでした。
4. 全日本・全日本級別選手権大会・ジュニアオープン・マスターズオープン等の大会プログラムと大会ポスター（地域等限定）を作成し配布予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、ジュニアオープン以外大会が中止になりましたのでジュニアオープンのみ配布いたしました。
5. NSA オフィシャルサイトと SNS(Facebook 等)の連動を図り、最新情報を配信しました。
6. NSA オフィシャルサイトに主催大会（ジュニアオープン）結果、写真等を掲載しました。
7. 協力店等に「ルール&マナーブック」を無料配布しました。
8. 「ルール&マナーブック」を主催大会、公認大会に無料配布しました。
9. 協力店に、ビーチクリーン等のポスターを 2 回無料配布予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の為に、感染症対策ガイドラインポスターに変更いたしました。
10. インタースタイルにブースを出展しました。
11. 第 55 回全日本サーフィン選手権大会、第 28 回ジュニアオープン選手権大会にてライブ中継行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、第 55 回全日本サーフィン選手権大会が中止になり、第 28 回ジュニアオープン選手権大会にて中継を行いました。
12. 放送局アナウンサー及びメディアの方にサーフィン競技セミナーを実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に未開催でした。
13. 千葉県オリパラ推進局と NSA の合同企画、学生を対象にサーフィン競技普及事業として「学校訪問プロジェクト」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、未開催でした。
14. 環境省リサイクル推進室「プラスチック・スマートキャンペーン」海洋プラスチックごみ

を無くす取り組みに向け、ビーチクリーン ACT を通じて協力しました。

【企画委員会】

1. 主催大会の構成や効率化を検討しました。
2. ポイントランキング制度を改定しました。
3. 主催サーフィンスクール及びプールスクールを開催しました。
4. 公認大会の改定及び管理を行いました。
5. 公認大会のエントリー及びその他詳細について NSA オフィシャルサイトに掲載しました。
6. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与しました。
7. サーフアニメの制作を監修しました。

<競技本部>

【大会開催委員会】（主催大会、公認大会管理運営、ジャッジシステム）

1. 第 28 回ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2020)を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、開催日を 2020 年 11 月 14 日（土）～15 日（日）に変更し開催しました。
開催場所：千葉県南房総市千倉海岸
開催日：2020 年 5 月 23 日(土)～24 日(日)
2. 第 38 回全日本級別サーフィン選手権大会(2020)を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止になりました。
開催場所：福島県いわき市四倉海岸
開催日：2020 年 6 月 26 日(金)～28 日(日)
3. 第 55 回全日本サーフィン選手権大会(2020) を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止になりました。
開催場所：愛知県田原市赤羽根町大石海岸 他
開催日：2020 年 8 月 23 日(日)開会式～28 日(金) 予備日 29 日(土)
※トライアル 8 月 22 日(土)
4. 第 17 回マスターズオープンサーフィン選手権(2020)を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止になりました。
開催場所：高知県東洋町生見サーフィンビーチ
開催日：2020 年 10 月 23 日(金)～25 日(日)

【ジャッジ委員会】

1. 公認大会にジャッジ派遣の要請があった場合に派遣を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止になりました。
2. 主催大会の専任ジャッジを選出しました。
3. 国際大会に準じて改定した競技ルールを施行しました。
4. 主催大会において、プライオリティルールを施行しました。
5. 主催大会においてジャッジシステム導入を行いました。

6. 公認ジャッジ講習会に教育委員会より講師の依頼があった場合に派遣を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に、ビデオオンデマンドによる講習会で講師の派遣は行いませんでした。
7. サーフィン検定において、1・2 級の見解の統一を目的としたジャッジ委員でのサーフィン検定を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の為に未開催でした。
8. サーフィン検定において、支部より要請があった場合にマスタージャッジを派遣し、全国での見解の統一を図りました。
9. 広報委員会と連携を図り、プライオリティルールの映像を作成し、プライオリティジャッジの育成に取り組みました。

【教育委員会】（ジャッジテスト、ジャッジ講習会、サーフィン検定、スクール審査員）

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理、調整を行いました。
 - ①検定基準の統一を目的に必要なに応じてマスタージャッジの派遣手配を行いました。
 - ②検定を通して開催地域のA級ジャッジからマスタージャッジを採用するなど、地域のジャッジ活動を促進しました。
 2. 春季公認ジャッジ講習会（試験なし）を開催しました。
 - ・2020年2月2日（日） 東京会場 飯田橋ナチュラック
 - ・2020年2月16日（日） 大阪会場 新大阪サムティフェイム
 3. 秋季公認ジャッジ講習会、ジャッジ資格試験を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の為に、講習会はビデオオンデマンド、ジャッジ試験は会場にて新型コロナウイルス感染防止対策を実施し開催しました。
 - ビデオオンデマンド … 2020年10月5日（月）～11月29日（日）
 - 試験日程 … 2020年12月6日（日）
 - 試験会場 … 仙台 / 東京 / 大阪 / 福岡 / 愛知 / 沖縄
 - 詳細は当連盟オフィシャルサイトで発表しました。
 4. 公認ジャッジの認定・昇格を審査しました。
 5. 支部主催で公認したジャッジ講習会へ講師の派遣を行う検討をしていましたが新型コロナウイルス感染拡大の為に、講習会が未開催でした。
- ※ 3. 4. 5. の事業はジャッジ委員会と連携を図りながら行いました。